

<第4227回>

目的地：岩橋山～大和葛城山～金剛山

担当者：時本

実施日：2022年3月20日（日）

形式：ハイキング

費用：¥1,610円（大阪阿部野橋駅発着、(570円（往・電車）+ 590円（バス）+ 450円（復・電車））

参加者：18名

天気：曇り

行程：大阪阿部野橋駅(7:24)⇒(8:02)当麻寺駅[集合・約80m](8:18)→(9:12)岩屋峠[約368m](9:21)→(10:17)平石峠[約376m](10:23)→(10:55)岩橋山[658.6m](11:14)→(12:02)山麓公園分岐手前のベンチ(トイレ前)(12:18)→(12:51)北尾根登山道分岐(通過)→(13:30)大和葛城山[958.8m](13:38)→(14:27)水越峠[約515m](14:33)→(15:01)カヤンボ[約691m](15:14)→(16:22)一ノ鳥居[約1,082m](16:30)→(16:45)千早園地[約1,010m](16:54)→(17:20)金剛山ロープウェイ前バス停[解散・約635m](17:25)⇒(18:04)富田林駅(18:17)=(古市駅乗換)⇒(18:42)大阪阿部野橋駅

感想：夏山等のベースキャンプや小屋泊の例会でサブザックを担いで8時間を超えるような長時間の歩行をすることがありますが、それに対応するトレーニングとして今回の例会を企画してみました。今回のような例会も必要ではないかと考えていた時に、Sさんから、日帰りで長時間歩く「ロングトレイル例会」をシリーズ化して定期的を実施したいとの話をお聞きし、今回の例会も「ロングトレイル例会」の一環として実施することとなりました。2月19日の紀泉アルプス例会に続き、第2回目ということになります。

また、今回はコースタイムが長いということもあり、5kg程度の荷物で構いませんと例会案内に記載しました。ただ荷物は軽目な代わりに、宿泊地からそのままスタートするのではないため出発が遅いのと、帰りのバスの時刻に間に合わせるため、通常の例会に比べてスピードが速くなります。もっとも出発が遅いといっても今回の場合、通常の例会に比べ集合時刻がやや早いうえハードな内容となっていましたので、参加していただける方はそれほど多くないのではと思っていましたが18名もの方に参加していただきました。

当麻寺駅前の広場で自己紹介をしていただきコースの説明を行った後、しばらく両サイドに人家が並ぶ舗装道路を進み、大阪府山岳連盟主催の「チャレンジダイトレ」でいつも参加の受付をしている場所を経由し、登山道にさしかかりました。二上山から続いてきた尾根筋への登りを進み、尾根に到達した岩屋峠で本日最初のまとまった休憩をしました。ここからダイヤモンド・トレイルに合流です。

岩屋峠出発後、竹内峠や平石峠を経由して岩橋山に向かいます。岩橋山は、麓から見ても二上山方面から稜線をなぞるとはっきりしたピークがわかるだけにしっかりした登りで階段が連続します。岩橋山は今例会の1つ目の目的地で集合写真を撮影しました。

岩橋山～岩橋峠は、標高差85mの階段が続きます。ここでは皆さんの顔や姿を撮影しやすいため写真を撮る場所としては良いのですが、急な下りが連続するため結構足に負担がかかります。岩橋峠を出発後、徐々に標高を上げた後、まとまった階段が7～8回(程度だと思います。)続きます。連続して何回も現われる階段に疲労が蓄積するとともにうんざりし、いつ終わるのかという気持ちが強くなっていきました。それでも積み重ねの威力は偉大で、次々と現れた階段もようやく終わり、2つ目の目的地の大和葛城山に到着しました。大和葛城山の頂上直下のベンチで短い昼食タイムをとった後、すぐに頂上に登りました。大和葛城

山頂上到着時は曇りでしたが風が強かった影響か、大阪方面も奈良方面も景色がくっきりと見えました。ただ風が強いだけに寒く、集合写真もそこそこに山頂を出発しました。葛城高原ロッジの横まで下りてくると風は弱まり、左手に大阪青雲会55周年記念行事で植えたドウダンツツジを見ましたがいくつかはなくなっている感じでした。私は先に進もうとしたため正確に確認しておらず不確かな情報ですが、YさんやSさんが現状を確認されていました。

大和葛城山出発後水越峠へと一旦下り、カヤンボ迄の緩やかな登りを経て金剛山へのやや急な登りが始まりました。私はこの登りに階段がないと勘違いしていましたが、しっかりした階段が続きます。大和葛城山への登りの連続した階段の印象が非常に強かったため、金剛山への登りの階段の記憶が消えてしまっていたのだと思います。通例の日帰り例会なら、大和葛城山まで行くとすればかなり長い例会となるのですが、今回はその先まで続くため、カヤンボ～一の鳥居間はあまり経験しない領域となります。言わば胸突き八丁で、一の鳥居まで標高差あと何メートルとカウントしながら登っていきました。

そしてようやく一の鳥居到着。これで登りはなくなったということで、アップダウンを繰り返しながら長距離を歩かれた皆さんは、さすがに疲労を感じられていたようですが、安心された様子で歩ききったという満足感が表れていました。その後、3つ目の目的地としていた金剛山を代表して、ちはや園地で集合写真を撮影して伏見峠からロープウェイ前バス停に向かいました。

伏見峠からは舗装道の急坂が待ち構えていて、参加された皆さんは「疲れた足であの急坂を下るのは大変と思う。」と口々に言われていましたが、実際は驚くほどのスピードで下ることができ、目標としていた最終バスの30分前に出発する1本前のバスに乗車できました。皆さんは行程の終盤で「疲れた。」と言われていましたが、まだまだ余力を残されていたでしょう。

後日の話となりますが、Mさんが、GPSアプリによって作成された、私たちの今回の行程での移動が3Gの地図上で（立体的な）軌跡として表示される動画を大阪青雲会ホームページの掲示板に投稿されました。初期の岩屋峠への登り、竹ノ内峠への下り、当時は登ったと思っていた岩橋山も序の口で、大和葛城山への連続した登りの長いアプローチ、せっかく登ったのに水越峠への沈むような下り、改めての金剛山への登り返しと、その軌跡を見て歩いた距離を感じました。また、1日でしたがその時々でいろいろな思い出がよみがえりました。軌跡の投稿に付随した文章で「階段、階段、階段」と書かれていましたように今回の行程は階段の連続、そしてつかの間の平坦な部分と休憩でした。なお、今後今回と同様の例会を実施される場合の参考となるように、到達場所と人数を記録しておきます。参加18名、大和葛城山登頂16名、水越峠到達15名、完歩13名でした。

普段の例会なら歩いている時間に会話を楽しめるのですが、今回の例会は歩いているときはあまり会話がなくて物足りない感じがしました。一方で、少し早く歩いたことや長距離を歩いたことについて「こんな例会があってもいいね。」の声があったので実施して良かったと思いました。この日歩いた距離は、Sさんの山岳アプリによれば24kmということで、よく歩いたものと思います。参加していただきました皆様、お疲れ様でした。参加された方はお疲れになったことと思いますが、今回歩かれたことで今後の山行に良い影響があることと思います。ありがとうございました。